

# 令和4年度予算の概要 — 下水道事業会計 —

## 1 予算編成の基本方針

下水道事業では、将来においても安定的に事業を継続していくために、100年後の将来像を見据えた「あまがさき下水道ビジョン2031」を令和3年度に策定し、その基本理念である「尼の下水道を次の世代へ」の実現に向けて、「まちの暮らしを支える」「災害から守り備える」「将来へ事業をつなげる」ための取組を進めてまいります。

ビジョンの初年度である令和4年度におきましては、ストックマネジメント手法を取り入れた、管きよの改築更新、各施設の整備等に取り組むとともに、避難所となる小学校へのマンホールトイレの設置、雨水ポンプの排水能力の増強などの取組を重点化して予算編成を行いました。また、東部雨水ポンプ場の建替えに向けた取組を進めるほか、長期的な資金状況の見通しに基づき、地方債等の債券による運用を新たに実施します。

## 2 予算の規模

(税込、単位:千円)

区 分		令和4年度	令和3年度	増減額	増減率	
収益的 収支	経常 損益	収入	12,896,134	12,970,891	△ 74,757	△0.6%
		支出	11,772,932	11,799,773	△ 26,841	△0.2%
		差引	1,123,202	1,171,118	△ 47,916	
	特別 損益	収入	1	1	0	0.0%
		支出	4,710	4,000	710	17.8%
		差引	△ 4,709	△ 3,999	△ 710	
	合 計		1,118,493	1,167,119	△ 48,626	
(当年度純利益)		(845,386)	(882,717)	(△ 37,331)		
資本的 収支	収入	4,734,886	5,029,836	△ 294,950	△5.9%	
	支出	8,861,801	8,734,827	126,974	1.5%	
	差引	△ 4,126,915	△ 3,704,991	△ 421,924		
補てん財源		4,877,329	4,938,911	△ 61,582	△1.2%	
資金収支	年間	750,414	1,233,920	△ 483,506		
	累計	12,641,402	11,890,988	750,414		
企業債残高		27,780,577	28,366,579	△ 586,002		

収益的収入では、同時徴収分の下水道使用料は、前年度当初予算に比べ、1.4%減の6千9百万円の減少を見込んでいます。一方、独自徴収分の下水道使用料は、前年度当初予算に比べ6.8%増の7千2百万円を見込んでおり、下水道使用料全体では、3百万円の増加を見込んでいます。その他の収入で、固定資産の除却に伴う長期前受金戻入の減少があることなどから、収入全体では7千万円減少する見込みとなっています。一方、収益的支出では、資産減耗費の減などにより、支出全体で3千万円減少することから、令和4年度の純利益は、前年度に比べ4千万円減となる8億5千万円を見込んでいます。

次に、資本的収入では、国庫補助金の対象事業の減により、前年度に比べ2億9千万円の減少を見込んでおり、資本的支出では、投資有価証券の増などにより1億3千万円の増加となっています。

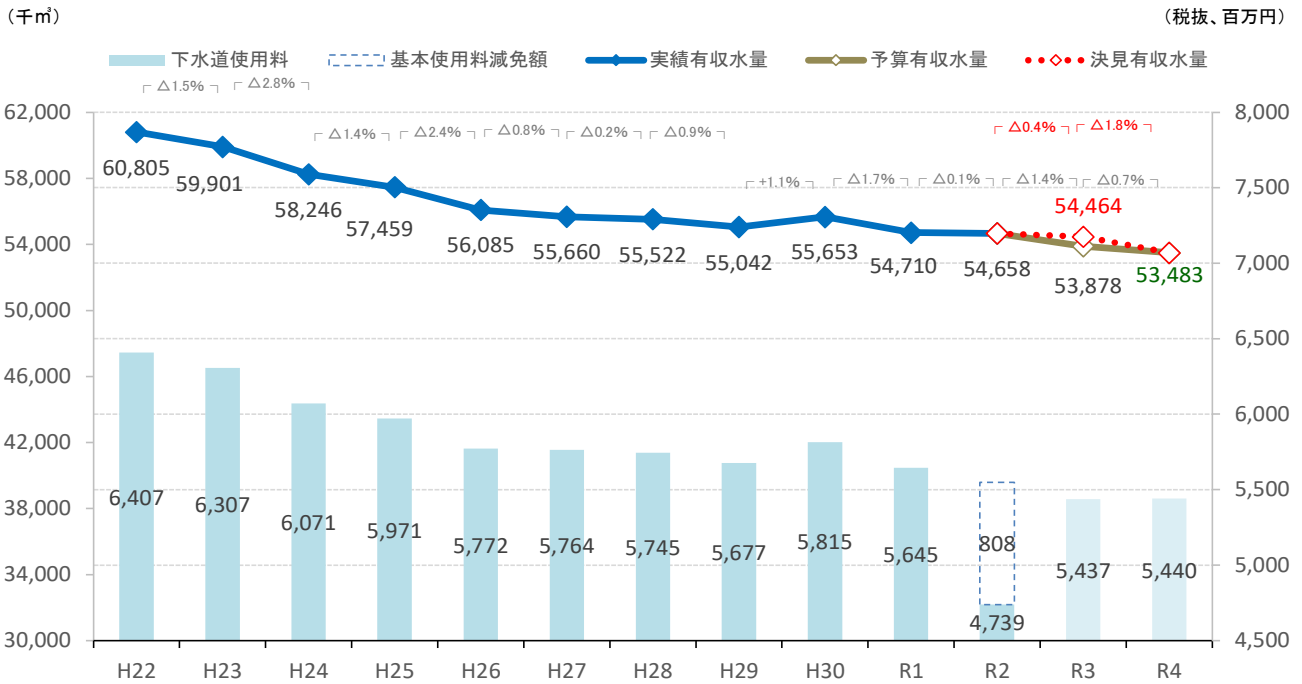
資金収支については、年度末の資金残高が126億4千万円となる見込みです。

### 3 業務の予定量

区分	令和4年度	令和3年度	増減	増減率
有収水量※	53,483 千m <sup>3</sup>	53,878 千m <sup>3</sup>	△ 395 千m <sup>3</sup>	△ 0.7%

※ 有収水量＝下水道で処理する汚水のうち、使用料収入の対象となる水の量

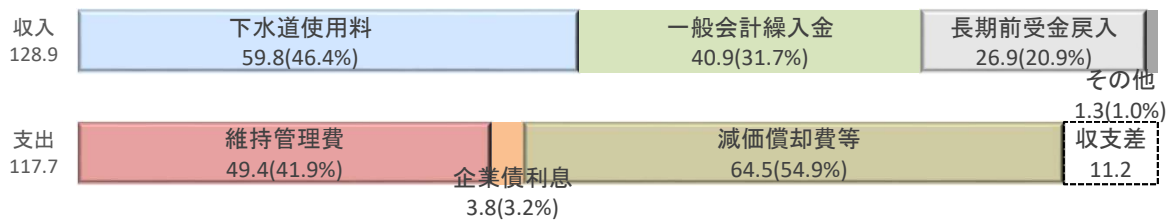
#### 《有収水量・下水道使用料の推移》



### 4 予算の構成

#### (1) 収益的収支（事業管理・運営にかかわる収支）

税込、単位：億円、( )内は構成比



#### (2) 資本的収支（施設の建設・改良などにかかわる収支）

